

マイナンバーカードの普及・利用の推進に関する
関係省庁連絡会議(第3回)
議事概要

1. 日時:令和5年1月26日(木)17時30分~18時15分

2. 場所:Web会議による開催

3. 参加者

デジタル庁 国民向けサービスグループ統括官	村上 敬亮
内閣官房 内閣審議官(内閣官房副長官補付)	出口 和宏
内閣官房 デジタル田園都市国家構想事務局次長	村手 聡
内閣府 大臣官房政策立案総括審議官	長谷川 秀司
公正取引委員会 事務総局官房総括審議官	大胡 勝
警察庁 交通局長	太刀川 浩一
金融庁 総合政策局政策立案総括官	堀本 善雄
消費者庁 政策立案総括審議官 (代理:審議官)	片岡 進 植田 広信)
復興庁 統括官	角田 隆
総務省 大臣官房総括審議官(情報通信担当)	鈴木 信也
総務省 自治行政局長	吉川 浩民
法務省 大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官	押切 久遠
出入国在留管理庁 次長 (代理:在留管理支援部長)	西山 卓爾 君塚 宏)
外務省 大臣官房サイバーセキュリティ・情報化参事官	大槻 耕太郎
財務省 大臣官房総括審議官	奥 達雄
国税庁 次長	星屋 和彦
文部科学省 大臣官房総括審議官	井上 諭一
厚生労働省 サイバーセキュリティ・情報化審議官	三田 一博
厚生労働省 保険局長	伊原 和人
農林水産省 大臣官房長 (代理:大臣官房 サイバーセキュリティ・情報化審議官)	渡邊 毅 菅家 秀人)
経済産業省 大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官	上村 昌博
国土交通省 大臣官房政策立案総括審議官 (代理:大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官)	大澤 一夫 高杉 典弘)
環境省 大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官	神谷 洋一

4. 議事

(1)【全業所管官庁を通じた計画的な取組等について】

議事(1)について、デジタル庁より説明

(2)【関係省庁から業界での取得促進に関する取組状況ご報告】

各省における業界での取得促進に関する取組状況について報告

(3)【マイナンバーカードの申請サポート等について】

議事(3)について、総務省より説明

(4)【健康保険証との一体化について】

議事(4)について、デジタル庁より説明

(5)【河野大臣挨拶】

- 各府省の皆様におかれては、マイナンバーカードの普及・利用の推進にご理解とご協力を賜って、大変感謝している。皆様のご協力のおかげで、マイナンバーカードは、申請ベースでは 8,500 万件となり、運転免許証を上回ってきた。これも、皆様のご尽力のおかげ。改めて感謝申し上げる。
- 12 月に業種別のカード取得の調査を行ったが、前回8月の調査より大幅に上回っている。各府省からの働きかけのおかげ。取得率が7割に達していない業種も見られるため、引き続き、呼びかけをお願いしたい。
- おかげさまで、国家公務員のカード取得率は、99業種中トップだが、公金受取口座の登録、健康保険証の利用登録は、国家公務員全体として、まだ50%程度であるため、登録の勧奨をお願いしたい。
- 申請率は非常に高くなっているが、カードの交付事務が課題になっている。窓口を休日や夜間にも開けていただくことや、出張申請を行い、本人確認を行っていただければ後は郵送で出来るという方法もある。行政職員が交付手続き、マイナポイントの申込支援は行政職員以外の人と分けることなどにより、カードの交付体制の強化が重要。総務省におかれては、自治体に対し、働きかけをお願いしたい。
- 健康保険証との一体化については、総務省・厚労省のご協力をいただいて、現場の意見を丁寧に聞いていただき、対応の検討を行っていただいている。引き続きよろしく願いを申し上げます。厚労省においては、電子証明書のスマホ搭載への対応や、スマホ一つで医療機関の受診が出来るための取組についてもお願いしたい。

- カードの普及がここまで進んだため、保険証のみならず、図書館カードや、カードでオンラインの申請が出来るオンライン市役所サービス、マイナンバーカードで施設の鍵を開けられるサービス、前橋市のような福祉タクシー・Suica との連動で高齢者割引、北見市の書かない窓口など、いろいろな取組みがあると思うので、積極的な推進をお願いしたい。デジタル田園都市国家構想交付金で支援を行うなど、各府省による支援の強化をお願いしたい。
- また、カードのメリットを日常生活にも広げていくため、コンサートチケットや手ぶら観光、決済手段での活用など、いろいろなことが出来ると思う。デジタル庁では、大串副大臣をヘッドにして民間との協業・取組みの強化を行っている。各府省におかれては、所管業種においてマイナンバーカードを利活用できる場面がないか、それを後押しする施策がないか、ぜひ検証を行って、その支援をお願いしたい。
- 今国会の法改正で、国家資格のデジタル化を追加していく。添付書類の省略や、マイナポータルを活用した資格証明が出来るようになる。行政機関にとっても、処理の効率化と登録情報の正確性の確保や最新化が出来るようになると思うので、法律で追加を予定している対象資格については、いつまでに何をやるのという時期の明確化、前倒しを是非お願いしたい。時期はアジャイルにいきたいと考えており、余裕を持たずに詰めたらここまでいける、若干ダメなら下がるという事は、やむを得ないので、出来るぎりぎりのところを持ってきていただきたい。
- 最後に、確定申告については、オンラインで医療費控除やふるさと納税の手続きを完結することが可能となった。ありがたく思うし、好感触で、いろんな声も聞いている。ただ、まだ知らない方がいらっしゃるので、国税庁におかれては、国民に分かりやすい周知徹底をお願いしたい。いろんな媒体で広報をお願いしたい。私も毎年自分で確定申告を、アナログで、紙で書いてやっていた。マイナンバーを入れたということは、すべての収入、所得、医療費控除みたいな、マイナンバーでわかるものは、確定申告用紙にあらかじめ印刷されて送られてきて当然だと多くの人が思っている。その用紙に寄付金控除や雑損控除、こちらで書かなければならないものを書いて出したら終わりというのが、いつできるのか、という話になっている。今年は間に合わないと思うが、来年からそういったことが出来るようになるのか、出来るようにするために何をやったら良いのかということをしっかり考えていただきたい。当面の確定申告のゴールは、「書かない確定申告」、寄付金控除は書かざるを得ないと思うが、来年ぐらいから出来たら、マイナンバーカードやマイナンバー制度がよかったと言われるようになると思うので、そういったことを目指していきたい。
- マイナンバーカードの利便性の向上は、オール政府一丸となってやらなければならない。暮らしの中のいろいろなところで使えて便利というのが、大事であるので、今日までのご協力にあらためて感謝を申し上げるとともに、各省におかれては、今後一層のご尽力ご協力をお願いしたい。